

# 知床ネイチャーキャンパス オンライン特別連続講座

## ワイルドライフマネジメント



知床ネイチャーキャンパス オンライン特別連続講座  
ワイルドライフマネジメント  
講師：梶光一 東京農工大学名誉教授

クマやシカなどの野生動物による農林水産業被害や列車・交通事故、人身事故が止まりません。この問題に早くから警鐘を鳴らし、対処するための科学的対策を実践してきた講師による14回の連続講座を開催しました。

「ワイルドライフマネジメント」の歴史と最前線について詳述し、多くの方に受講いただきました。

クマやシカなどの野生動物による農林水産業被害や列車・交通事故、人身事故が止まりません。この問題に早くから警鐘を鳴らし、対処するための科学的対策を実践してきた講師による14回の連続講座を開催しました。

「ワイルドライフマネジメント」の歴史と最前線について詳述し、多くの方に受講いただきました。

開催日時：2024年1月16日（火）～7月16日（火）  
19:30～21:00 月2回（ほぼ隔週）開催 全14回  
方 法：オンライン（ZoomとYouTube Liveによる）  
受講申込者：190名、延べ総受講者数：1,151名  
修了証授与者数：60名



### 講師紹介（敬称略）



### 梶 光一

1953年、東京都生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士課程修了。専門は野生動物管理学。北海道環境科学研究センター（現北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所）主任研究員、東京農工大学教授を経て、現在、東京農工大学名誉教授、兵庫県森林動物研究センター所長。元日本哺乳類学会理事長、元「野生動物と社会」学会会長。農学博士。

### <テキスト>

『ワイルドライフマネジメント』  
（東京大学出版会）  
梶光一講師の最新著書。「日本独自の動物管理システムを確立するための試行錯誤の研究史を豊富なエピソードと共に紐解き、科学と政策の視点から課題解決方研究の方法論を示す」（本書の帯より）

## 各回のテーマとスケジュール

1、有蹄類の爆発的増加－個体群動態をめぐる議論	1月16日（火）
2、個体群動態－洞爺湖中島のシカ	1月30日（火）
3、シカ管理－知床・イエローストーン・ノルウェー	2月 6日（火）
4、定点管理と長期モニタリング－個体群変動のプロセスとメカニズム	2月20日（火）
5、フィードバック管理－順応的管理に向けて	3月 5日（火）
6、世界の野生動物の管理の歴史－自然を管理するという事	3月19日（火）
7、日本の野生動物管理の歴史－保護から管理へ	4月 2日（火）
8、個体群管理から生態系管理へ－ランドスケープの視点	4月16日（火）
9、野生動物管理システム研究－研究経営論	5月 7日（火）
10、人口縮小時代の野生動物管理－持続可能な地域のために	5月21日（火）
11、野生動物はだれのものか－野生動物管理とステークホルダー	6月 4日（火）
12、大学の野生動物管理専門教育－実現に向けた取り組み	6月18日（火）
13、人口縮小社会が抱えるさまざまな課題	7月 3日（水）
14、野生動物管理の日本モデル	7月16日（火）



講師の著書『ワイルドライフマネジメント』をテキストとして、各章を解説する形で14回の講座を開催しました。Zoomミーティングで90名定員で募集し申込が殺到したため、急遽YouTube限定配信を併用し190名に配信しました。

講義では、生態学の基礎的な部分から、現在多くの場所で取り入れられているフィードバック管理、順応的管理の考え方、人口縮小社会が進む今後の政策的な提言まで、洞爺湖中島や知床などをフィールドに講師が積み重ねてきた野生動物管理の研究史を振り返る形で進められました。



受講生からは、毎回講義の後にたくさんの質問をいただきました。当財団ホームページに質問と回答を掲載したほか、再配信の補講期間も設け、多くの受講生に利用いただきました。最終的には延べ1,115名の方が受講し、全回視聴した希望者60名に修了証をお送りしました。

# 知床ネイチャーキャンパス2024

## ワイルドライフマネジメント 知床ミーティング

### エゾシカ・ヒグマ管理の現場にて

オンライン講義：2024年1月16日～7月16日（月2回、全14回）

現地実習：2024年10月19日（土）～21日（月）

※2024年1～7月に開催したオンライン特別連続講座「ワイルドライフマネジメント」（11～12P参照）の総仕上げという位置付けで、講座受講生、社会人（現職者）を中心に開催しました。

実習フィールド：北海道斜里町の知床世界  
遺産地域と周辺地域

会場・宿舎：ホテル知床

受講生：11名

行政職員、NPO法人職員、  
民間企業職員、フリーランス  
学生など

### 講師紹介（敬称略）



オンライン講義・現地実習

梶 光一

兵庫県森林動物研究センター所長  
東京農工大学名誉教授



現地実習

金川 晃大

公益財団法人 知床財団  
事業部 保護管理事業係長



現地実習

中西 将尚

公益財団法人 知床財団 事業部参事  
（自然再生・交流推進担当）



現地実習

岡本 征史

公益財団法人 知床財団  
企画総務部長



現地実習

新庄 康平

公益財団法人 知床財団  
事業部 保護管理事業係主任

# 現地実習 1 日目 (2024.10.19)

現地実習初日はホテル知床に集合し、オリエンテーションや知床に関するレクチャーのあと、実際のフィールドへ。初日は主にエゾシカ管理の実際を学ぶため、岩尾別台地と100平方メートル運動地で、管理を担う知床財団の講師に現場のお話を伺いました。

## 実習 1 生物多様性保全とエゾシカ管理の現場

### 岩尾別台地

あいにくの雨が降り続ける中でしたが、知床財団・金川晃大講師の案内で、岩尾別台地の大型エゾシカ囲い柵を見学。知床で行われているエゾシカ管理の方策や課題を詳しくお聞きしました。

設置のコストや維持管理の状況、巨大な柵ならではの捕獲の苦労や工夫、囲い柵だけではないさまざまな方法を組み合わせて試行錯誤しているエゾシカ管理の実態を学びました。



## 実習 2 森林復元とエゾシカ管理

### しれとこ100平方メートル運動地 森づくりの道・開拓小屋コース

森林復元を行なっている「しれとこ100平方メートル運動地」内の「森づくりの道・開拓小屋コース」を、知床財団・中西将尚講師とともに歩きました。

稚樹をエゾシカから守るための長年の試行錯誤のほか、指標となる森に近づくための樹種の多様化などについて学びました。雨が降り続ける幻想的な雰囲気の中、100年後を見据えた森づくりの奥深さに触れることができました。



# 現地実習2日目（2024.10.20）

現地実習2日目は主にヒグマ管理を学ぶため、知床自然センターやウトロ市街地を訪れました。実習前にはヒグマと人（カメラマン・観光客など）との接近が問題となっている岩尾別川をバス車内から視察。夕方ホテルに戻った後には、質疑応答や振り返りの発表を行いました。

## 実習3 世界遺産地域におけるヒグマ対策 普及啓発

### 知床自然センター

世界遺産地域内にあるビジターセンター・知床自然センターで、知床財団の岡本征史講師から、ヒグマに関する普及啓発のレクチャーを受けました。

幅広い対象に行う発信のポイントや心理学の知見を取り入れた工夫、地元の小中学校などで行なっている教育の重要性を語っていただき、知床財団で貸し出ししている教材「トランクキット」などを紹介いただきました。



## 実習4 市街地におけるヒグマ対策

### 斜里町ウトロ市街地

知床財団で野生動物対策にあたる新庄康平講師の案内で斜里町ウトロ市街地を歩き、住民の暮らしの安全を守る対策について学びました。

市街地に張り巡らされている電気柵や頑丈なゴミステーション、過去にヒグマが出没した小中学校周辺を視察。住民との関わりについては、現職者が多い受講生の関心が高く、多くの質問が出ていました。



# 現地実習2日目（2024.10.20）

## 実習5 ヒグマ管理に関する質疑応答

### ホテル知床

ウトロ市街地での実習後、引き続き新庄講師、梶講師との質疑応答の時間を設けました。管理の指針となるヒグマ管理計画や現場での実際の運用、現地を見てから気づいた点などの質問にお答えいただきました。

また行政職員の受講生が働く他地域でのヒグマ管理の状況などもお話しいただき、全員で課題や現状を共有することができました。



## 振り返りと発表

### ホテル知床

2日間の現地実習を終え、エゾシカ管理、ヒグマ管理に関する膨大なインプットの中から印象に残った点を、受講生全員に一人ずつ発表していただきました。

岩尾別川でのヒグマと人との軋轢の実態、地元住民の意識、教育の重要性、知床財団という組織の貴重さ、知床の先進性と他地域での応用の際の壁など、さまざまなコメントがありました。今回の知床での学びを、今後の仕事に役立てていただけることを願います。



## 交流会

### ホテル知床

2日目の夜、講師、受講生による交流会を開催しました。飲み物やお菓子を囲んでそれぞれの仕事について情報交換するなど、ざっくばらんな交流の機会になったことと思います。

# 現地実習3日目（2024.10.21）

## 修了式

## ホテル知床

最終日の朝、簡単な修了式を行い、受講生の皆さんに修了証を手渡しました。これで全プログラムが終了し、解散となりました。



## 現地実習プログラム

	開始時間	時間	終了時間	内容	場所
10月19日（土） 1日目	8:30	0:30	9:00	受付	ホテル知床
	9:00	0:30	9:30	主催者やあいさつ・オリエンテーション・自己紹介	
	9:30	0:20	9:50	レクチャー 知床の保護管理基礎知識	
	9:50	0:20	10:10	準備	
	10:10	0:30	10:40	移動（ホテル知床～知床自然センター～岩尾別台地）	
	10:40	2:10	12:50	実習①生物多様性保全とエゾシカ管理の現場	岩尾別台地
	12:50	0:20	13:10	移動（岩尾別台地～知床自然センター）	
	13:10	1:00	14:10	昼食・休憩（知床自然センター）	知床自然センター
	14:10	2:10	16:20	実習②森林復元とエゾシカ管理	100平方メートル運動地 森づくりの道・シカ柵コース
	16:20	0:20	16:40	移動（知床自然センター～ホテル知床）	
	16:40	0:30	17:10	振り返り1 梶先生のコメントや質疑応答	
17:10	0:50	18:00	振り返り2 グループでの情報交換	ホテル知床	
18:00	2:30	20:30	チェックイン・夕食・休憩		
10月20日（日） 2日目	7:00	2:00	9:00	朝食・準備・集合	ホテル知床
	9:00	1:00	10:00	現地視察 岩尾別川流域のヒグマ管理の課題について車中より説明 移動（ホテル知床～岩尾別川～自然センター）	ウトロ市街～幌別台地～岩尾別川流域～知床自然センターへバス移動
	10:00	1:45	11:45	実習③世界遺産地域におけるヒグマ対策 普及啓発	知床自然センター
	11:45	0:15	12:00	移動（自然センター～ウトロ道の駅）	
	12:00	1:30	13:30	昼食・休憩（ウトロ市街地）	ウトロ市街地（自由）
	13:30	2:00	15:30	実習④市街地におけるヒグマ対策	ウトロ市街地（ベレケ川、キャンプ場）
	15:30	0:10	15:40	移動（キャンプ場～ホテル知床）	
	15:40	1:00	16:40	実習⑤ヒグマ管理に関する質疑応答	
	16:40	1:10	17:50	全体での振り返り（1人3分程度の発表）	ホテル知床
	17:50	1:40	19:30	夕食	
19:30	2:00	21:30	交流会		
10月21日（月） 3日目	7:00	1:30	8:30	朝食・準備・集合	ホテル知床
	8:30	0:15	8:45	修了式・写真撮影・解散	